



miya10 その他1人

GPS

--:--

距離

13.3 km

登り

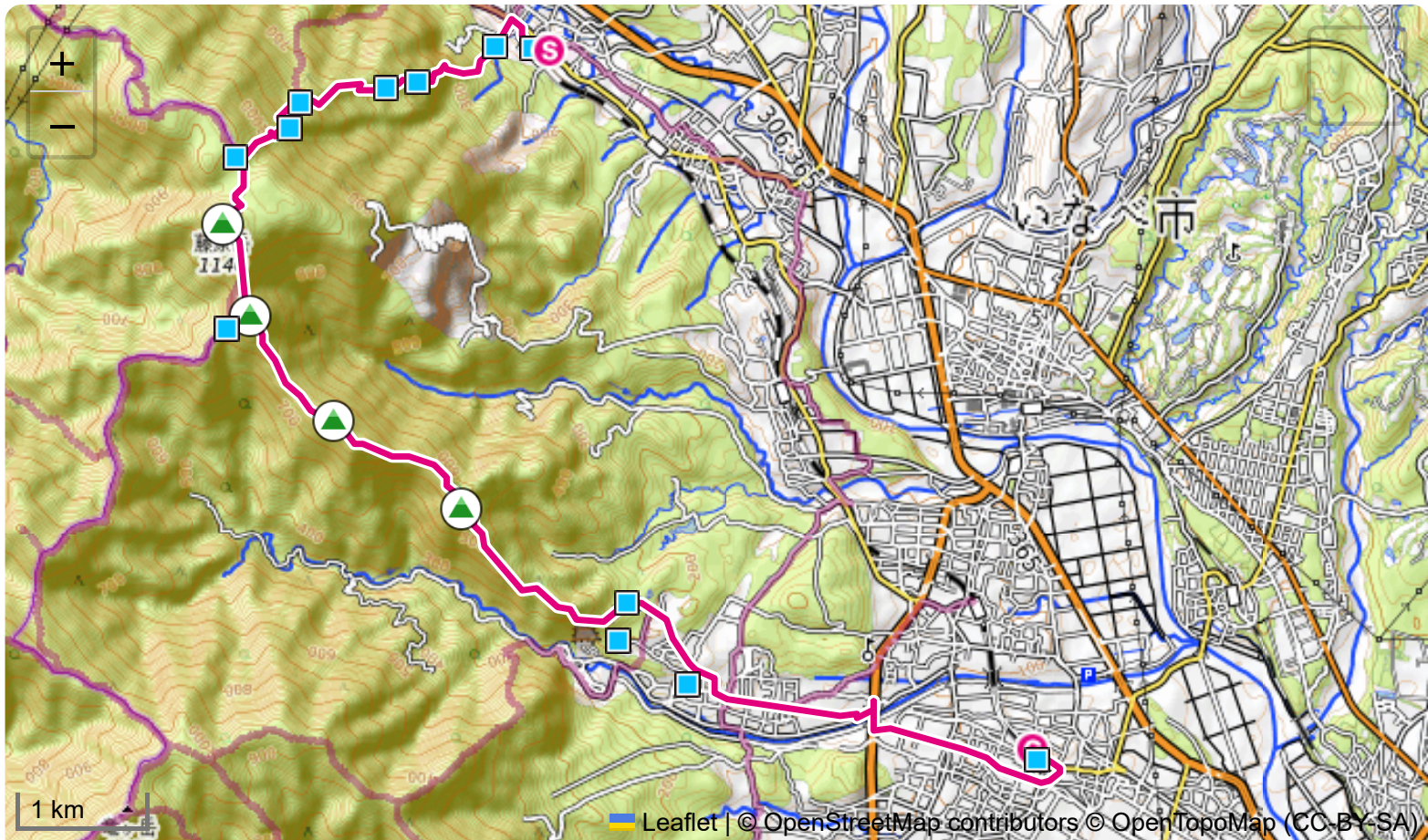
1,127 m

下り

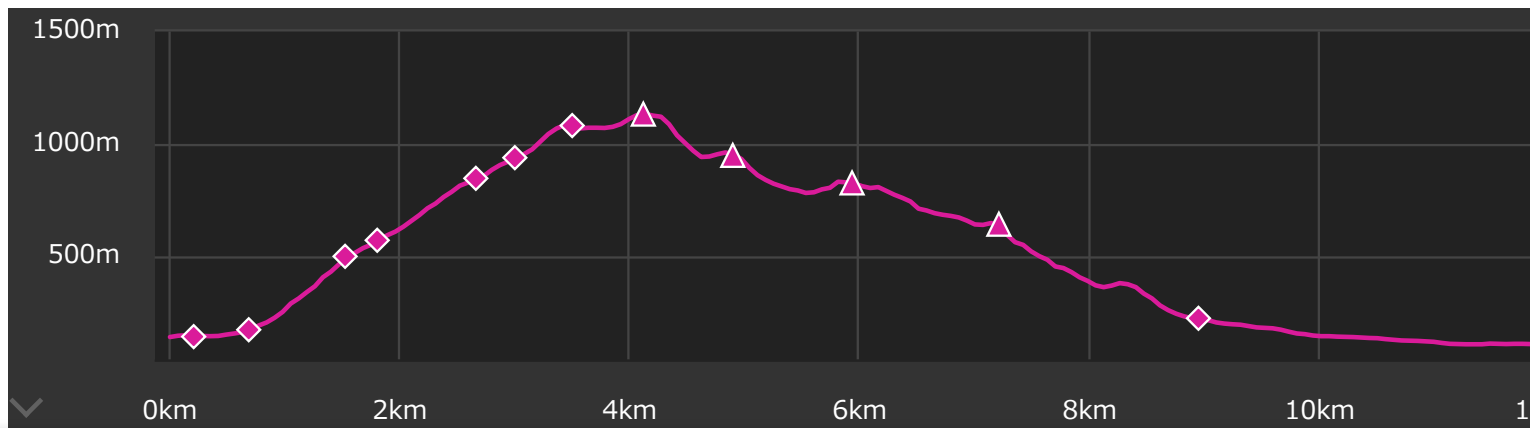
1,176 m

[アクセスを調べる](#)

[my出発地登録](#)



[標高グラフを拡大](#)



# コースタイム

日帰り 山行 **5:25** 休憩 **2:55** 合計 **8:20**

9:10		西藤原駅
	10分	
9:20	○	藤原岳登山口休憩所
9:20		
	35分	
9:55	○	藤原岳表登山道 4 合目
10:00		
	10分	
10:10	○	藤原岳表登山道五合目
10:20		
	25分	
10:45	○	藤原岳八合目
10:55		
	20分	
11:15	○	藤原岳九合目
11:15		
	20分	
11:35	○	藤原山荘
12:15		
	15分	
12:30	○	藤原岳
12:40		
	45分	
13:25	○	多志田山
13:35		
	40分	
14:15	○	草木
14:20		
	30分	
14:50	○	丸山
15:55		
	15分	
16:10	○	孫太尾根登山口
16:20		
	60分	
17:20	○	丹生川駅
17:30		
	0分	
✓17:30		ゴール地点

天候

晴れ、展望春霞

過去天気図（気象庁）[2024年04月の天気図](#)

アクセス

利用交通機関：[電車](#)

往路：三岐鉄道富田駅8:04乗車、西藤原駅9:07下車

帰路：三岐鉄道丹生川17:32乗車、近鉄富田駅18:18下車

[🚗 アクセスを調べる](#)      [my出発地登録](#)

コース状況／  
危険箇所等

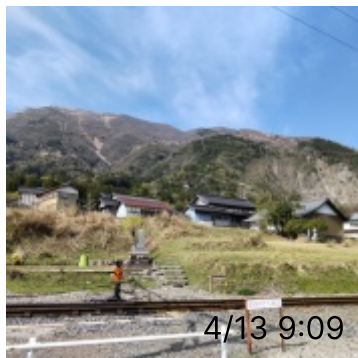
- ・藤原岳登山口休憩所から藤原岳山荘間の大貝戸道は道標完備で道は明瞭です。また、その先の展望台までも道は明瞭で危険個所なし。
- ・孫田尾根の藤原岳展望台から多志田山間は石灰岩のガレ場の急坂道、緊張と慎重で転倒に注意しながら下降しました。
- ・孫田尾根の多志田山から藤原岳登山口間は道標完備で道は明瞭です。

Googleはこの広告の表示を停止しました



# 写真

## スライドショーで見る



冬に弱いので今年初めての鈴鹿連峰の山行。西藤原駅から藤原岳を望み、登山意欲が湧くネ！



初夏の陽気でアウターを脱いで、長袖Tシャツで気分爽快。



山荘の前は大勢のハイカーのランチタイムで大賑わい。藤原岳は人気抜群。



藤原岳山荘は昔のままの面影。山荘の前でランチタイムのつもりが余りにも多いハエに小屋裏の芝生に退散。



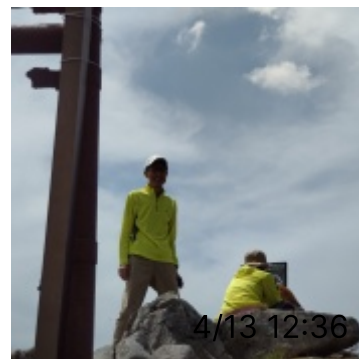
小屋裏には沢山のテント場が出現。



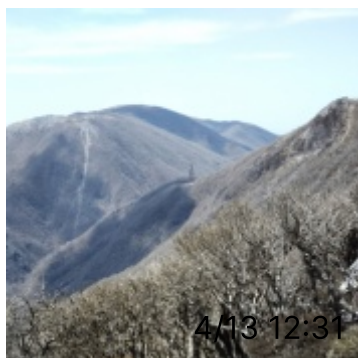
馬酔木の花、その先は天狗岩が隠れている石灰岩のガラ場山。



藤原岳展望台は大勢のハイカーで大変な賑わい。



藤原岳展望台から全方位眺望に満足なハイカー。



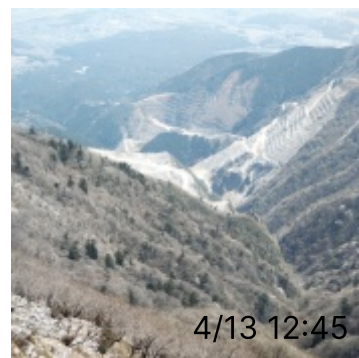
竜ヶ岳展望



春霞に朧気に見える御在所岳・鎌ヶ岳？



春霞で展望はイマイチだが、藤原岳展望台は竜ヶ岳と遠足尾根のビューポイント。



藤原岳東壁面の石灰岩の巨大な採掘場を俯瞰。





4/13 13:10

多志田山にあった119レスキューポイント、安心感抜群。



4/13 13:21

振り返って眺める藤原岳展望台、石灰岩のガレ場急登を下ってヤレヤレ感で、大満足。



4/13 13:33

心の余裕でスミレに癒されます。



4/13 13:37

何て名前か？小さな可憐な花の群生地。



4/13 13:43

ミツバツツジが満開、背後の山は竜ヶ岳か静ヶ岳。



4/13 13:47

まだ見ることができたカタクリ。



4/13 14:19

体力温存のため丸山の巻き道を優先。



4/13 15:00

いなべ市街、揖斐川河口を俯瞰。



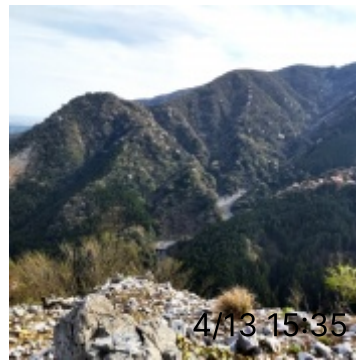
4/13 15:19

竜ヶ岳・遠足尾根展望。



4/13 15:22

青川溪谷俯瞰、尾根稜線は銚子岳・静ヶ岳治田峠。



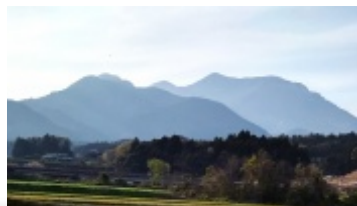
4/13 15:35

大鉢山から遠足尾根展望。



4/13 16:26


孫田尾根の丸山と草木を眺めて小休止。



見事な伊勢茶の綺麗に刈り込まれた茶ノ木の畝。

日が傾きシルエットになった藤原岳と孫田尾根。

丹生川駅のレトロな汽車に遭遇、余り時間が無いのでそそくさと丹生川駅に直行、お疲れ様でした。

撮影機器 :  AQUOS sense5G SHG03 au  
シャープ

## 感想

 miya10

春霞のせいか、花曇りのせいか、花粉症の涙目のせいか、老人性白内障のせいか、いずれにせよ山の展望はイマイチでしたが、風も無く暖かい陽射しでハイキング日和でした。

6年振りの孫田尾根は意外と道が明瞭で安心してウォーキングができました。やはり藤原岳展望台から多志田山への急下降の石灰岩のガレ場はスリップによる転倒に随分注意して一步一步緊張と慎重に足を運びガレ場を抜けてようやく多志田山に至れば一安心です。

草木・丸山は巻き道をを利用し身体の負担を少なくし兩人共に体力温存を図りました。

孫田尾根から丹生駅間は予定より随分時間もかかり、かなり疲労困憊状態でゴールし、高齢者ハイカーの悲哀を久し振りに感じました。

空いた三岐鉄道の1時間程の乗車で漸く疲れも取れ、我が家に19時過ぎに帰宅、因みにスマホ歩数計では総歩数：30,500歩、総歩行時間：4:50で、街歩きと違い山行はやはりハードである事を改めて実感しました。

